

対戦形式で見る通行人

あらすじ

人ひとりしか通れない狭い歩道。

そんな歩道に、わざとぶつかってくる男、道を譲らない女、ヤクザ、いつも譲ってばかりの男、の四人の男女が集結する。

お互いがすれ違う瞬間、誰が譲って、誰が譲らないのか。

プライドを賭けた四人の戦いが、いま幕を開ける――

登場人物

リョウヘイ (26) フリーター

ノリオ (44) 会社員

アイリ (20) 大学生

トマシノ (44) ヤクザ

アイリの友人

リョウヘイの同僚

リョウヘイの母

## ○道

人ひとりしか通れない狭い歩道。

路肩を挟んだ車道では車が行き交う。

リョウヘイ(26)、歩道の真ん中を歩いている。

ひ弱な体つきとは裏腹に、リョウヘイ、鬼の形相をしている。

正面からノリオ(44)がやってくる。

ノリオ、どことなく殺気立っている。

二人、互いの目が合う。

二人がすれ違うには、どちらか一方が路肩か民家の敷地内へとコースを変えなければならぬ。

が、ふたりとも道を譲る気配がない。

二人、歩道をまっすぐ歩き続ける。

近づく二人の距離。

普通ならどちらかが譲っている局面。

が、まだどちらも譲らない。

二人、いよいよ至近距離まで迫って…

○タイトルが表示される

「対戦形式で見る通行人」

○以下のリーグ表が表示される

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ				
ノリオ				
アイリ				
トマシノ				

○テロップ画面

「「戦目」の文字。」

○道（冒頭シーンの5分前）

人ひとりしか通れない狭い歩道。

ノリオ、歩道を歩いている。

ノリオ、ズボンのポケットをまさぐる。

ノリオ「（舌打ち）…ケータイ忘れた」

ノリオ、踵を返す。

X

X

X

アイリ（20）、スマホを見ながら歩いている。

正面からノリオ、やってくる。

ノリオ、アイリの姿に目をやる。

アイリ、ノリオの姿に気づかず、スマホをいじっている。

ノリオ、そんなアイリを見下すように眺めている。

二人の距離、近づく。

ノリオ、まっすぐに進む。

アイリ、相変わらずスマホを見ている。

二人の距離が間近に迫る。

ノリオ、それでもよけることなく、わざとぶつかるかのように進んでいく。

アイリ、やっとスマホから顔をあげる。

目の前にノリオの姿。

二人、ぶつかりそうになる。

アイリ、寸前で路肩に降りる。  
ノリオ、何事もなかったかのように歩道を進んでいく。

アイリ、むっとしながら、そんなノリオの後ろ姿を眺める。

○テロップ画面

「ノリオの勝ち」の文字。

○以下のリーグ表が表示される

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ				
ノリオ			○	
アイリ		●		
トマシノ				

○テロップ画面

「2戦目」の文字。

○道

ノリオ、歩いている。

背後にアイリの姿が見える。

アイリ、むっとした顔でノリオを睨んでいる。

ノリオ、悠然と歩く。

正面からヤクザの風貌をしたトマシノ

(44)、やってくる。

二人、互いの存在に気づく。

ノリオ、俄に顔がこわばる。

トマシノ、表情一つ変えない。

二人の距離が近づく。

二人、互いに道を譲る気配がない。

ぐんぐん近づく二人の距離。

と、ノリオのすぐ前方にコンビニが見える。

ノリオ、吸い込まれるようにコンビニに入っていく。

○コンビニ・中



ノリオ、トイレの前にいく。  
トイレ、鍵がかかっている。

ノリオ「(舌打ちし)入ってるのかよ」

### ○道

トマシノ、コンビニの前を通過する。

ノリオ、コンビニから出てくる。

背を向けて歩くノリオとトマシノの姿  
が映し出される。

### ○テロップ画面

「トマシノの不戦勝」の文字。

### ○リーグ表

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ				
ノリオ			○	●
アイリ		●		
トマシノ		○		

○テロップ画面

「3戦目」の文字。

○道

アイリ、歩きスマホをしている。

スマホのLINE画面に以下のメッセージ。

「今ぶつかってくる男に遭遇した」

「え。大丈夫？」

「きもすぎた。ヤクザだったら絶対避けるく

せにㄨ」

「確かにㄨ」

アイリ、ふと立ち止まる。

アイリ「(ぼそり)：コンビニで支払いするの

忘れてた」

アイリ、踵を返す。

アイリ、歩く。

正面からトマシノがやってくる。

アイリ、トマシノのいかつい風貌を見て、

顔がひきつる。

トマシノ、アイリを見るなり路肩に降りて道を譲る。

アイリ、何となく恐縮している。

二人、すれ違う。

○テロップ画面

「アイリの勝ち」の文字。

○以下のリーグ表が表示される

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ				
ノリオ			○	●
アイリ		●		○
トマシノ		○	●	

○ノリオのアパート・外

ノリオ、家に忘れてきたスマホを手にして出てくる。

ノリオ、もと来た狭い歩道を歩き出す。

○コンビニ・外

アイリ、支払いを済ませて出てくる。

アイリ、友人に出くわす。

二人、笑顔で手をふりあう。

アイリ、友人とともにもと来た狭い歩道を歩き出す。

○道（俯瞰視点）

ノリオの前方にアイリ（とその友人）。

さらにその前方にトマシノ。

三人、等間隔で歩いている。

そして三人の前方にリョウヘイの姿。

リョウヘイ、三人のほうへ向かって歩いている。

○テロップ画面

「戦目」の文字。

○道

リョウヘイ、歩いている。

リョウヘイ、ナヨナヨした見た目で、いかにも弱そう。

正面からトマシノがやってくる。

リョウヘイ、トマシノを見るや否や速攻で路肩に降りる。

○テロップ画面

「トマシノの勝ち」の文字。

○リーグ表

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ				●
ノリオ			○	●
アイリ		●		○
トマシノ	○	○	●	

○道

リョウヘイ、うつむいて路肩を歩いている

る。

その正面、トマシノ、肩で風を切って歩道を歩いている。

○テロップ画面

「世の中には二種類の人間がいる」の文字。

○ホテル・中

トマシノ、ベッドで女心人とωPをしている。

○テロップ画面

「歩道を歩く人間と」の文字。

○リヨウヘイの部屋

リヨウヘイ、パソコンの前に座り、乳首をいじりながら△△を見ている。

○テロップ画面

「路肩を歩く人間」の文字。

○道

リョウヘイとトマシノ、すれ違う。

リョウヘイ、うなだれる。

○テロップ画面

「5戦目」の文字。

○道

リョウヘイ、歩いている。

正面からアイリと友人、やってくる。

アイリと友人、横一列で歩道と路肩を歩

きながら楽しげに話している。

リョウヘイ、そんな二人を見る。

民家側にはちょうどブロック塀があり、

民家側によけるスペースはない。

リョウヘイとアイリたちの距離が近づく。

リョウヘイ、よけるにもよけられずに困

っている。

アイリたち、リョウヘイのことには気にもとめず、歩道と路肩を占拠している。

リョウヘイ、さすがにむっとする。

お互いの距離が接近する。

リョウヘイ、しかたなしに後ろを振り返り、車がこないことを確かめ、車道へとはみ出してアイリたちをよける。

### ○テロップ画面

「アイリの勝ち」

### ○リーグ表

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ			●	●
ノリオ			○	●
アイリ	○	●		○
トマシノ	○	○	●	



○道

アイリたち、何事もなかったように去っていく。

リョウヘイ、微かに体を震わす。

○テロップ画面

「6戦目」の文字。

○道

リョウヘイ、体を震わせて歩いている。

リョウヘイの声「(ぼそりと)いつもよけていた」

以下、回想シーンが続く

○別の道

リョウヘイ、歩いている。

正面から年寄り、やってくる。

リョウヘイ、距離が詰まらないうちに

コースを変更して年寄りをよける。

リヨウヘイの声「いつもいつもよけてきていた」

### ○別の道㊦

リヨウヘイ、歩いている。

正面から、日傘を差し、キャリーバッグを引いた女がやってくる。

女、悠然と道の真ん中を歩いてくる。

リヨウヘイ、しかたなく端っこギリギリに移動してよける。

リヨウヘイの声「よけない女」

### ○別の道㊧

リヨウヘイ、歩いている。

前方の曲がり角から歩きスマホをする男が出てくる。

男、リヨウヘイに向かって進んでくる。

リヨウヘイ、しかたなくよける。

リヨウヘイの声「よけない男」

○別の道 ㄥ

リョウヘイ、歩いている。

正面から手をつないだカップルがやってくる。

カップル、歩道を独占している。

リョウヘイ、しかたなく路肩へ降り、カップルをよける。

リョウヘイの声「よけないカップル」

○別の道 ㄱ

リョウヘイ、歩いている。

正面から横一列で歩くサラリーマンの集団がやってくる。

リョウヘイ、端っこによける。

リョウヘイの声「よけない集団」

○別の道 ㄹ

リョウヘイ、歩いている。

正面から自転車がやってくる。

自転車、歩道から降りることなくリョウ  
ヘイに突っ込んでくる。

リョウヘイ、思わず路肩へ降りる。

リョウヘイの声「よけないチャリンコ！」

○別の道へ

リョウヘイ、うつむいて歩いている。

リョウヘイの声「…いつもよけてきた。26年  
間いつもよけてきた」

○リョウヘイの部屋

リョウヘイ、机に突っ伏している。

リョウヘイ「(唇を噛み)俺ばかり：俺ばっ  
かりだよ！」

○アルバイト先の休憩室

リョウヘイ、椅子に座って昼飯を食べて  
いる。

声「ラストストロー現象って知ってる？」

リョウヘイ、顔をあげる。

いつの間にか隣の椅子にリョウヘイの同僚が座っている。

同僚「重い荷物を背負い、我慢に我慢を重ねていたラクダがいてさ、最後は一本の藁を積んだだけで倒れてしまったって話」

リョウヘイ「…」

同僚、リョウヘイの肩を優しく叩き、同僚「リョウヘイ見てると、なんか心配でさ」

○道

リョウヘイ、車道に出てアイリたちに道を譲る。

アイリと友人、平然と去っていく。

リョウヘイ、体を震わせている。

リョウヘイの声「もうよけるのやだよ！ おかあさん！ 僕やだよ！」

○イメージ映像

リョウヘイの母親の顔のアップ。

母親、慈愛に満ちた顔で、

母親「もういいんだよ。あんたは今までずっと我慢してきた。もう我慢することなんかないんだよ」

回想（とイメージ映像）、おわり

○（戻って）道

リョウヘイ、鬼の形相になる。

正面からノリオ（トト）がやってくる。

ノリオ、どことなく殺気立っている。

互いの目が合う。

リョウヘイの声「殺す」

リョウヘイ、闘争本能を滾らせる。

二人とも道を譲る気配がない。

近づく距離。

ノリオ、リョウヘイの鬼の形相を見て、

少しばかり動揺する。

二人、至近距離まで迫る。

そしてぶつかりそうになった瞬間：

リョウヘイは路肩へ、ノリオは民家の敷

地のほうへ、同時によける。  
二人、どうにかすれ違う。

○スロー映像

同時によけた場面がスローモーションで  
映し出される。

ノリオがよけるよりわずかに早く、リョ  
ウヘイの足が路肩についている。

○テロップ画面

「ノリオの勝ち」の文字。

○リーグ表

	リョウヘイ	ノリオ	アイリ	トマシノ
リョウヘイ		●	●	●
ノリオ	○		○	●
アイリ	○	●		○
トマシノ	○	○	●	

○道

リョウヘイ、全身を震わせながら天を仰ぐ。

○以下の結果画面が表示される

順位	チーム	勝点	勝	分	敗
1	ノリオ	6	2	0	1
1	アイリ	6	2	0	1
1	トマシノ	6	2	0	1
4	リョウヘイ	0	0	0	3

○テロップ画面

以下の文字が出る。

「同点が三人いた場合、決勝戦の選手はくじ引きで決める」



○運営の部屋

机の上に抽選箱。

黒づくめの男、抽選箱に手を入れ、カラーボールを一つ取り出す。

カラーボールには「トマシノ」の名前。

黒づくめの男、再度抽選箱からカラーボールを一つ取り出す。

カラーボールには「ノリオ」の名前。

○テロップ画面

「決勝戦」の文字。

○道

トマシノ、歩いている。

トマシノ「(ぼそり) ……店寄るの忘れた」

トマシノ、踵を返す。

正面からノリオ、やってくる。

二人、互いの存在に気づく。

ノリオ、俄に顔がこわばる。

トマシノ、表情一つ変えない。

二人の距離が近づく。

二人、互いに道を譲る気配がない。

ぐんぐん近づく二人の距離。

と、ノリオのすぐ前方にコンビニが見える。

ノリオ、吸い込まれるようにコンビニに入っていく。

○テロップ画面

「優勝はトマシノ」

○スナック店・中

トマシノ、入ってくる。

スナックのママへ、

トマシノ「組長から頼まれてきた」

ママ、トマシノへみかじめ料の入った封筒を渡す。

トマシノ「おう。悪いな」

トマシノ、封筒を懐にしまう。

○テロップ画面

「おまけ映像」の文字。

○コンビニの中

ノリオ、入ってくる。

ノリオ、トイレへ繋がる狭い通路を歩く。

正面からいかつい外国人がやってくる。

(おわり)